

ゼミ活動等学生の活躍

商学部「ソーシャル・アントレプレナーシップ・プログラム」受講生 空き家を再生し、移住者の受け入れを目指す― 「たばやまシェアハウスプロジェクト」を始動

商学部の「ソーシャル・アントレプレナーシップ・プログラム」受講生は、山梨県丹波山村の空き家を再生し、移住者受け入れを目指す「たばやまシェアハウスプロジェクト」に取り組んでいます。住宅・人手不足という地域課題の解決を目的に、企画・設計・広報までを自ら担いながら改修を推進しています。企業協賛を得てDIYイベントを実施し、専門家や一般参加者とともに塗装作業を行うなど、地域と外部をつなぐ活動も展開しています。こうした実践を通じて、地域活性化と新たな人の流れの創出に挑戦しています。

本プロジェクトの一環として、塗装用具メーカーの株式会社タイハウ様より協賛を受け、2025年11月1日・2日にDIYイベントを開催しました。



国際経営学部 中村潤ゼミ 台湾での国際学術学会にて 査読付き投稿論文の研究発表と国際交流を実施

2025年11月3日から5日、国際経営学部の中村潤ゼミの学生9名が台湾で学会発表や国際交流等を実施しました。

初日は台北の新規事業企業「Dynalab Inc.」を訪れ、経営陣から台湾企業の特徴や世界展開についての講話を受け、意見交換を行いました。4日と5日は台南での国際学術会議（The 21st International Conference on Knowledge-Based Economy and Global Management）に参加し、査読を経て採録された2件の研究発表を行いました。学生らはMBTIを用いた自己評価ギャップの分析や、ストレス解消における趣味の関連性についてそれぞれ発表し、現地の専門家と活発な質疑応答を交わしました。

国際経営学部では今後も、海外での研究発表や国際交流を通じた体験型の学びを積極的に推進していきます。



理工学研究科博士2年 藤澤隼矢さん 第168回日本獣医学会学術集会において 優秀発表賞を受賞

理工学研究科博士後期課程（応用化学専攻）2年 藤澤隼矢さん（小松晃之研究室）が第168回日本獣医学会学術集会において学術集会優秀発表賞（2025-2026年度）を受賞しました。厳正な審査の結果、藤澤さんの発表がきわめて優秀と認められ、表彰されました。

■受賞タイトル

動物用アルブミン製剤：“ポリオキサゾリン結合ブタ血清アルブミン”



第168回
日本獣医学会
学術集会
優秀発表賞

生命分子化学
（小松）研究室



生命分子化学
（小松）研究室
紹介動画（YouTube）



本学Webサイトに掲載された記事を中心に紹介します。
＜2025年11月～2026年5月＞
教員の身分や学生の学年は、記事掲載時の情報です。



文学部東洋史学専攻4年 水山葵さん 「TOPIK 100回記念イベント」 体験エッセイコンテストで銀賞を受賞

TOPIK 100回
記念イベント
体験エッセイコンテスト
銀賞

2025年12月14日、桜美林大学新宿キャンパスで開催された「TOPIK（韓国語能力試験）100回記念イベント」内の体験エッセイコンテストの表彰式において、文学部東洋史学専攻4年の水山葵さんが、銀賞を受賞しました。

水山さんは「自分だけの効果的な学習法」をテーマに取り上げ、受賞エッセイ『感情で学ぶ韓国語 - ドラマと共に見つけた「言葉の温度」-』を書きました。当該エッセイでは、韓国語学習における挫折を、韓国ドラマのセリフをきっかけに自身の学習法を見直すことで克服した、真摯な体験談が綴られています。水山さんは「言語学習は自分自身を見つめ直すきっかけになり、未知の世界に連れていってくれる手段。これからも自分なりの学習方法で学びを続け、目標や夢を叶えていきたい。」と、今後の抱負を語りました。



国際情報学部 松崎和賢ゼミ 「関東管区内警察合同サイバーボランティア・ 学生CTF大会」一般学生部門で1位

サイバーボランティア
学生CTF大会
一般学生部門
第1位

国際情報学部の松崎和賢ゼミの松本叶夢さん、檜山幸来さん、中西真央さんのグループが、「関東管区内警察合同サイバーボランティア・学生CTF大会」の大学生等・専門学校生・高専生 一般学生部門にて第1位の成績を収め、表彰状を授与されました。本大会は、増加する国際的なサイバー攻撃が増加傾向の中、次世代のサイバー防衛を担う人材の輩出と地域間連携の強化を目的に開催されました。CTF（キャプチャー・ザ・フラッグ）とはサイバーセキュリティの技術向上などを目的としたゲーム形式の競技です。

国際情報学部の2年次後期からのゼミでは、情報社会の諸課題に対する解決策を多角的に研究しています。講義で培う「理論」とゼミでの「実践」を掛け合わせ、より良い情報社会の構築に貢献できる人材の育成に努めています。



博士後期課程学生（D-CPRA 支援学生） 3大学 SPRING 合同研究発表会・ワークショップに参加

博士後期課程学生（D-CPRA 支援学生）が、2026年2月26日・27日の2日間、青山学院大学および上智大学の博士後期課程学生と一堂に会し「3大学 SPRING 合同研究発表会・ワークショップ」に参加しました。

1日目の研究発表会では、学生たちが日頃の研究成果をポスターで発表しました。分野の枠を越えた活発な意見交換を行い、自身の研究を多角的な視点で見つめ直しました。また、鉄道会社の実務家による講演から社会実装のあり方を学びました。2日目のワークショップでは、大学横断のグループで「相模原市リニア駅周辺の街づくり」を議論しました。各自の専門性を持ち寄り、地域社会の将来像を提案する実践的な学びとなりました。

プログラムの最後には交流会・情報交換会も行われ、3大学の学生・教職員が交流を深めました。

